

さいき日和 4号

地域支援員だより

／ ロハスってなんだー?! ／



ココロと体が健康で心地よい暮らし

佐伯地域に「漁民の森」があるのをご存知でしょうか？横山の麓に、10年ほど前から海の環境を守るため、植林活動をしている場所があります。今回は、この植林活動をしている「広島西部ロハスの会」代表の永本清三さんにお話を聞きました。永本さんはビジネスでも国産の木を使った家作りや薪ストーブのある生活の提案など環境保全を軸にした活動をされています。佐伯地域の魅力とは？住んでいるとなかなか気づかない地域の価値を見なおしてみませんか。

森と海

戦後まもなく、日本政府はスギやヒノキなどの針葉樹を植林する政策をすすめていました。しかし、海外から安価な木材が輸入されるようになり、国産の木の価値は下落し、日本の森は放置されるようになりまし



た。日本古来の自然な森は多様な種類の植物が混在していますが、植林したまま放置され、針葉樹だらけになった森には光が差し込まなくなり、下草が生えず、栄養分を含む豊かな土が海に流れ出るようになりました。

栄養過多になった海には赤潮が発生し、昭和40～50年代にかけ、気仙沼湾では牡蠣の養殖業者の頭を悩ませていました。

そこで、日本古来の森を取り戻そうと気仙沼の養殖業者の方々がはじめたのが「漁民の森づくり」です。

広島西部ロハスの会

放置された森は赤潮だけでなく、地盤を弱め土砂災害の原因にもなります。

廿日市市では、平成17年に発生した土砂災害で海に流れついた大量の木を撤去するのに2億円の費用がかかりました。

この災害をきっかけに、地御前漁協の方々が、森に携わる永本さんに相談を持ち掛け、「広島西部ロハスの会」を立ち上げました。そして、廿日市市でも「漁民の森づくり」が始まりました。

循環型佐伯

永本さんは植林活動にたずさわる中で、微生物の働きが人間の暮らしに深く関わりがあることを知りました。「持続可能な社会」「循環型社会」の基礎になる考え方です。

微生物が作る健康な土壌から生まれる自然の恵みを遠くに運ばず、できるだけ近い場所で消費します。

地元で採れる米・野菜・肉・魚を地元で食べ、地元の山から切り出した木で家を作り、エネルギーを自給できるようにするのが理想です。

佐伯地域は地域内循環型ビジネスの実現ができる条件がそろっている場所だと永本さんは語られていました。



子どもと自然

「広島西部ロハスの会」では子ども向けの環境教育にも力を注いでいます。

土や緑の匂い、自然の中で過ごす厳しさと豊かさ、新月の夜の星空の美しさ、街の中の日常とは違う世界があることを体験します。

自然の中に身をおく体験によってあらゆるものが形を変えてつながることを知ります。

なにかと利益を優先させる傾向のある日本の現状ですが、社会に出る前の子どもたちに自然から多くのことを学んで欲しいという願いを込めて活動しています。

昨年度も漁民の森づくりの活動には多くの子どもたちの姿がありました。



取材を終えて

永本さんのお話は大樹の幹から枝が分かれていくように広がり、微生物から経済、星空までつながっていました。

佐伯地域の自然の美しさは今でも残っていますが、戦後間もないころまではもっと美しい風景の中で暮らしていたと言う方も多くいます。

私たちが目にするその美しい自然は、人の手が入ることによって保たれてきたとされています。

不安定な世界情勢の中で、人類が長い間営んできた、人と自然が共存し持続するように暮らすシステムは、とても大きな意味を持つと考え自然の中で子育てしたいと望む若い人たちも増えています。

佐伯地域の豊かな自然が地域づくりの大きなヒントになるかもしれないと感じました。

地域支援員の活動

くじまの森 自由なマーケット

5月14日(土) 10:00~15:00

Rags-to-riches 界隈にて開催されます。支援員の活動紹介や空き家相談のブースを出します。ぜひお立ち寄り下さい。



おるたな療法ワークショップ

からだの不調を整える足裏健康法や楽健法などのワークショップを月1回~2回開催しています。

参加費500円。

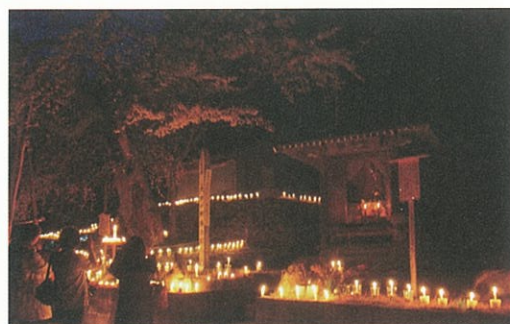
浅原市民センター (72-0001)

横井までお問合せ下さい。

大虫さくらまつり

4月9日10日の二日間で行われた大虫さくらまつり。今年初の試みのしだれ桜の下でのキャンドルナイトはとても幻想的でした。

支援員は昨年から大虫で取り組まれているひまわりプロジェクトブースをお手伝いしました。



まちづくりのための相談お聞きします

「こんなことを考えているのだけど、どんなことからしたら良い?」といった内容のご相談が増えています。

同じような気持ちを持った方を紹介したり、どのような方法があるかを一緒に考えたりしています。

まちづくりについてご相談のある方は地域支援員まで、どうぞお気軽に声をかけて下さい。 連絡先 下記参照

編集後記

「漁民の森」の立ち上げに、浅原小学校の児童が参加したこともあり、快く取材を引き受けてくださいました。毎年10月に行われる「漁民の森」(浅原牛ノ首)での植林イベントや環境教育など興味のある方は、地域支援員までご連絡ください。

2016年5月1日発行

編集・発行 地域支援員 早川幸江 横井美奈

〒738-0292 広島県廿日市市津田1989

廿日市市佐伯支所地域づくりグループ 電話 0829-72-1111

ホームページ <http://saikirainbow.wix.com/watasitatino>